



学ぼう・みがこう 消費者力

消費者力検定講座第4講報告



講師 西村 のぶ子氏

開催日：2013年10月22日（火）10：00～12：30
会場：東京都生協連会館
参加人数：9名、講師・事務局 4名 計 13名
主催：東京都生協連消費者行政連絡会
協賛：東京都消費者月間協賛事業



司会 栗田 克紀
パルシステム東京

スケジュール

10：00	開会
10：05	講座 生活と家計管理
12：15	質問タイム
12：35	事務連絡・閉会
本日の講師 西村 のぶ子 氏 (財)日本消費者協会・消費生活コンサルタント ファイナンシャルプランナー	



受験対策テキストを参加者が順番に音読をして、内容の理解を深めたり、グループ対抗で金融関連の「〇×クイズ」を行うなど楽しく学びあいました。

家計管理

(1) 家計管理(第7章)

- ①家計の安定をはかるために
 - ・家計とは、家庭生活での収入と支出の流れをしめすもの。生涯にわたってリスクに備えることができる家計管理が必要。
- ②ファイナンシャル・プランニング
 - ・人が生まれてから死亡するまで、生涯のあらゆる場面で現れる生活の現象・ライフサイクルを意識し、各ライフステージでの家計管理を行うことが大切。

商品やサービスの購入と消費

(2) クレジットの利用

- ①仕組み
 - ・クレジット会社が信用を担保にして立て替え払いをしてくれているもので、消費者はクレジット会社に借金しているということ。

②管理上の注意



- ・盗難、紛失した時のためにクレジット会社の連絡先をメモしておく。
- ・分割払いを利用した場合の商品の所有権はすべて支払いがおわるまでクレジット会社に所有権があるので処分しない。
- ・リボルビング払いは月々の支払いを一定額にできるが、クレジット会社によって利用方法も違い、またどの商品の支払いが終わってないのかわかりにくいので、利用には注意が必要。

法・制度

- (3) クレジットに関する法律
 - ・賦販売法の改正
- (4) 多重債務に関する法律
 - ・多重債務者の救済方法

(5) 貸金に関する法律

- ・貸金業法の改正ポイント
- ・偽造盗難カード預金者保護法

(6) 社会保障制度(国民皆保険・皆年金)

- ・公的年金制度(国民・厚生・共済)
- ・健康保険・介護保険

(7) 相続

- ・遺言相続と法定相続、相続放棄
- ・相続財産の管理

(9) 遺言

- ・遺言書の種類・特徴・注意点

ワークショップ

金融商品

- ① 金融商品の特徴・注意点
- ② 公的年金制度と自助努力
- (7) 金融商品に関する法律
 - ・金融商品取引法・販売法